

## 2020 年度実施概要

学校名

北海道函館水産高等学校

採択活動名

七重浜を活用した海洋環境教育

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海岸漂着物回収および調査	3 学年	課題研究
2.		
3.		

取り組みの概要

本研究では教科「課題研究」で設定されている項目「調査、研究、実験」に添って実施した。この項目では、水産や海洋に関する学習の基礎の上に立った総合的、発展的な課題について、個人又はグループによる調査、研究、実験の継続的な学習を行う内容となっている。

本研究では、地域の海における海岸清掃活動および海岸漂着物調査の体験や、海洋観測および調査の実施を通し地域の海洋環境について、課題を発見し、主体的・協働的な活動をしながら解決するものである。

北海道函館水産高等学校では、海洋技術科、水産食品科、品質管理流通科、機関工学科の4学科があり、それぞれの学科で専門性の高い学習が行われており、教科「課題研究」は全学科で履修されている教科である。海洋の環境保全に関する本単元は共通に学習する分野であることから学科横断的な単元計画の開発を研究した。七重浜海岸にて行う海岸漂着物回収および調査については、放課後におけるボランティア活動として行った。海岸漂着物回収および調査の実施については、当初、7月実施予定で漁業協同組合や市民団体等との共催も計画されたが新型コロナウイルス感染症の拡大により、9月に本校生徒のみで開催した。81名の生徒が参加し、回収したゴミは30%のゴミ袋で、約50袋分となった。北海道とはいえ9月は熱中症の対策が必要な時期であり、また、新型コロナウイルス感染症の対策も並行する必要があることから回収及び調査は困難を極めた。しかし、生徒の反応が良く、漂着物も成果を得られたことは、今後の発表等の機会に繋がり、継続した学習として期待できると考えた。

外部講師の活用により、海洋観測の知識・技術を向上させるべく講演会・実験を計画し北海道大学水産学部、東京海洋大学より講師を招聘する予定であったが新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。このため、海洋観測については文献をたよりに自力で実施することとした。

海洋環境調査として水質調査や海底調査を計画し実施した。水質調査については河川源流から七重浜海岸までCOD調査を実施した。海底調査についてはスクーバ潜水とコアラーによる採泥を実施したが、水中の濁りがひどく、コアラーについては採泥を試みたが十分な成果を得ることはできなかった。

活動および考察をまとめ、成果発表と質疑応答を行うことで生徒の思考力・判断力・表現力が特に向上した。

活動中の写真



デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)